




林業福島

No. **635**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.

7

2017

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 星空の下に咲く



本県の林業の再興、 発展に向けて

福島県森林組合連合会

代表理事会長 秋元公夫

福島県森林組合連合会の運営にあたり、平素よりご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、森林は、生命の営みの最もかけがえないものであり、未来からの借り物だと言われてきましたが、森林林業を取り巻く現状は、依然として厳しい状況にあり、適正な管理・経営が行われない森林が増加することで山の循環が滞り、人工林の構成は、著しく高齢級に偏っています。

そうした中、森林組合系統では、新系統運動『森林・林業・山村未来創造運動（次代へ森を活かして地域を創る）』において、主伐に対する確実な再造林を行い、次代に向け、森林の若返りを推進することを盛り込んだところです。

また、国の平成二九年度税制改正大綱では、十年以上にわたる我々の悲願である森林吸収源対策の財源確保について「市町村が主体の森林整備等に必要財源に充てるため、森林環境税の創設に向けて地方公共団体の意見を踏まえながら、平成三〇年度税制改正で結論を得る」との枠組みが明記されたところです。引き続き関係各位のご協力をお願い申し上げます。

東日本大震災と東京電力H.D(株)福島原発事故から六年が過ぎ、未だに多くの組合員が避難生活を余儀なくされ大変なご苦労、ご心労をされていることと思えます。このため、着実に復興への歩みを進めていく必要があります。

森林林業・木材産業は、直接関連産業に従事する人だけでなく、多くの県民の生活に密接に関連した営みであるとともに地域の振興や自然環境の保全の観点など、多面にわたる役割と広がりを持った分野であり、それだけ、県民の期待も大きく、これに応えうる森林林業・木材産業の実現のため、連合会は関係者の皆様と協力、連携しながら意欲をもって取り組んでまいりたいと考えています。

来年春には、第六九回全国植樹祭が南相馬市の海岸防災林において開催されます。全国植樹祭の開催は、東日本大震災からの本県の森林・林業の再興をもたらす大きな契機となるものと期待せずにはられません。

当連合会といたしましても、県内森林組合と手を携えて、本県林業の再興、発展に邁進する所存でありますので、更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら	第46回全国林業後継者大会・第68回全国植樹祭の開催 … 6
本県の林業の再興、発展に向けて	優良森林土木工事及び優秀工事監督者を表彰 … 7
福島県森林組合連合会代表理事会長	普及指導員通信 … 8
秋元公夫 …… 1	森連だより …… 9
第69回全国植樹祭大会1年前記念イベント開催報告 … 2	公社だより …… 10
第38回福島県緑の少年団活動実績発表大会 … 3	「自然に親しむ」 …… 11
第43回福島県緑の少年団大会 …… 4	木材市況・ふくしま東西南北 …… 12
公益社団法人ゴルフ緑化促進会による植樹活動 … 5	はなしのひろば・お知らせコーナー …… 13



第69回全国植樹祭大会1年前記念イベント開催報告

第69回全国植樹祭福島県実行委員会事務局 (福島県農林水産部全国植樹祭推進室内)

平成29年6月11日に、来年春に南相馬市で開催する全国植樹祭の大会1年前を記念したイベントを伊達市「霊山こどもの村」で開催しました。当日は、約2,000名の参加をいただき、上記のイベントを中心に大いに盛り上がり、本大会開催の気運を高めることができました。

◇全国植樹祭「木製地球儀」のお披露目◇



全国植樹祭のシンボルとして開催県に代々引き継がれ、第68回全国植樹祭富山県大会において引継ぎを受けた「木製地球儀」を、今回の式典の中でお披露目しました。この「木製地球儀」は、今後県内59の全市町村を巡回します。

◇参加者による記念植樹◇



代表者記念植樹では、三春町立中郷小学校の児童が、自ら採取した種から育てた三春滝ザクラの苗木を植樹しました。一般参加者記念植樹では、今年の全国植樹祭開催県である富山県から提供を受けた苗木や、県内の小学校などで育てたスクールステイ苗木、約1,050本を植樹しました。

◇緑の少年団表彰式◇



緑の少年団の表彰式では、知事賞を受賞した会津若松市立大戸小学校緑の少年団が、代表で知事から賞状等を授与され、活動発表を行いました。また、南相馬市の大甕緑の少年団が全国植樹祭への想いを発表しました。

◇全国植樹祭バージョンのキビタンのお披露目◇



全国植樹祭バージョンのキビタンをお披露目しました。緑の少年団をイメージした衣装をまとったキビタンは、子供たちに大人気で、会場を賑わせてくれました。全国植樹祭バージョンのキビタンは、今後もイベントなどに参加して、全国植樹祭をPRしていきます。

◇体験・展示コーナー◇



チェーンソーアートの実演や、葉っぱスタンプエコバッグ作り、丸太切り体験、森林のアロマ体験、木工工作体験、木製プランター製作など、森林・林業にちなんだ多数のブースが出店され、多くの方にご来場いただきました。

平成29年度 第38回 福島県緑の少年団活動実績発表大会

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

日時 平成29年5月23日(火)
場所 ビッグパレットふくしま 4階 プレゼンテーションルーム
主催 福島県緑の少年団育成協議会 (公社) 福島県森林・林業・緑化協会
後援 福島県 福島県教育委員会 関東森林管理局

5月23日(火)、郡山市「ビッグパレットふくしま」において、「平成29年度 第38回福島県緑の少年団活動実績発表大会」を開催しました。

本大会は、新緑が映えるこの時期（5月）に毎年開催しています。

今回、9団の緑の少年団が参加し、発表では7団の各少年団の代表（団長、副団長等）が昨年度1年間取り組んできた学習活動、奉仕活動、レクリエーション活動について発表しました。

審査結果（参加団含む）

審査結果は次のとおりです。

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>福島県知事賞</p> <p>会津若松市立大戸小学校緑の少年団／
会津若松市立大戸小学校</p> <p>福島県教育委員会教育委員長賞</p> <p>会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団／
会津若松市立川南小学校</p> <p>関東森林管理局長賞</p> <p>田村市立緑小学校みどりの少年団／田村市立緑小学校</p> | <p>福島県緑の少年団育成協議会長賞</p> <p>猪苗代町立緑小学校緑の少年団／猪苗代町立緑小学校</p> <p>奨励賞</p> <p>会津若松市立謹教小学校緑の少年団／
会津若松市立謹教小学校
大甕^{おおむか}緑の少年団／南相馬市立大甕小学校
小野田小学校緑の少年団／白河市立小野田小学校</p> <p>その他参加団（発表なし）</p> <p>飯豊小学校緑の少年団／小野町立飯豊小学校
中郷小学校緑の少年団／三春町立中郷小学校</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



大会風景



会津若松市立大戸小学校緑の少年団



会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団



田村市立緑小学校みどりの少年団

審査講評のなかで、審査委員長の県教育庁社会教育課主幹の渋川卓也氏は、「森づくりの活動をとおして緑を愛し、緑を守って、心を養うという大きな目標をもって集まり、その活動の発表として素晴らしいものを見させていただきました。」「緑を育てることには色々な意味があるが、その中の一つに生きていくうえでとても大切な酸素をつくるという役目があり、今だけでなく未来の地球に届ける素晴らしい活動だと思います。」と話されました。

県知事賞を受賞した会津若松市立大戸小学校緑の少年団の宗像陸大団長（5年生）、小林瑛寿副団長（5年生）は「花壇から生まれるつながりをもっともっと広げていくのが目標であり、花と緑を大切にする活動を広げていきたい」と誓いました。

表彰式は、6月11日(日)開催の第69回全国植樹祭 大会1年前記念イベントの中で行われた第43回福島県緑の少年団大会（霊山こどもの村：伊達市霊山町）の席上で行いました。

第43回福島県緑の少年団大会

～第69回全国植樹祭 大会1年前記念イベント～

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

平成29年6月11日(日)、霊山こどもの村(伊達市)において、第43回福島県緑の少年団大会を福島県緑の少年団育成協議会、(公社)福島県森林・林業・緑化協会の主催、福島県、福島県教育委員会、関東森林管理局、伊達市の後援により開催しました。

今回は、来年、第69回全国植樹祭が本県で開催されることから、福島県実行委員会が行う「大会1年前記念イベント」の中に緑の少年団大会の表彰や活動発表を盛り込む合同方式で開催しました。

現在、県内には112団(うち17団休止中)、5,551名の緑の少年団が結成されており、県内各地において、学習活動・地域の皆さんと一緒にの奉仕活動・レクリエーション活動などを積極的に行っております。緑の少年団大会は、県内の緑の少年団が一堂に会し、自然の中での学習などを通じてお互いに交流を深め、緑を愛する豊かな人間性を持つ、健康で明るい社会人になって欲しいという願いを込めて毎年開催しています。

今大会の参加者は、県内の緑の少年団員、先生、保護者など13団体、258名、関係者も含めると全体で約300名の参加となりました。(記念イベントも合わせると約2,000名)

緑の少年団表彰式では、今年5月に開催した緑の少年団活動実績発表大会の表彰を行い、受賞団を代表して内堀知事より会津若松市立大戸小学校緑の少年団の宗像陸大団長と小林瑛寿副団長に賞状と盾が授与され、福島県知事賞を受賞した二人は、これまでの活動について大勢の参加者に見守られるなか堂々と大きな声で発表しました。

全国植樹祭への想いの発表では、開催地である南相馬市が地元、大甕(おおみか)緑の少年団の江上颯人さんと齋藤絃音さんが、「震災を乗り越え、未来に向けて共に頑張っていこう」という力強い言葉で全国植樹祭への想いを述べました。

式典終了後は、植樹会場へ移動し、森林(もり)とのきずなづくり植樹リレー、代表者記念植樹、記念撮影、一般参加者記念植樹を行いました。

植樹リレーでは、内堀知事と当協会の齋藤卓夫会長から今回の植樹地の仁志田市長へ木製プレートとバトンが引き継がれ、2017ミス日本「みどりの女神」野中葵さんが伊達市に木ピンを挿しました。

代表者記念植樹では、中郷小学校の児童らが種から育てた「三春の滝ザクラ」の苗木を植樹しました。(中郷小学校緑の少年団、石田みどりの少年団、大甕緑の少年団の3団が植樹に参加)

一般参加者記念植樹では、緑の少年団をはじめイベント参加者一人一人が、スクールステイで育てられた苗木や、ヤマザクラ、イロハモミジ等の苗木、約1,050本を大会スタッフの植樹指導を受けながら丁寧に植樹しました。

昼食をはさんで、午後の活動は、こどもの村内に設けられた地域の魅力発信コーナーや体験コーナーで木工工作体験や葉っぱスタンプエコバッグづくり、丸太切り体験&木メダルづくりなどに各々参加し、一生懸命に取り組みました。

その他にも、ステージアトラクションの霊山太鼓、相馬流山踊り、みどりの女神トークショー、厚切りジェイソンなどのお笑いステージを観覧するなどして楽しみました。

今大会は、今年4月に新規結団した中郷小学校緑の少年団の参加をはじめ、例年より参加団員数が増えました。来年に開催する全国植樹祭に向けて、今後ともより一層緑の少年団活動を盛り上げていくために、緑の少年団大会や交流集会などの校外活動への参加や、それぞれの地域と連携した活動の働きかけを強化してまいります。



式典会場の様子



知事賞の授与(大戸小学校緑の少年団)



全国植樹祭への想い発表



記念植樹

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会による植樹活動

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

公益社団法人ゴルフ緑化促進会（大西久光理事長。以下「促進会」という。）は、ゴルフ関係者の協力連携により、国民スポーツとしてのゴルフの健全な発展を通じて、国民生活をとりまく環境の緑化推進及び自然環境の保全に寄与することを目的に、昭和五十一年九月に設立され、これまで全国各地で植樹活動を実施しています。

「ゴルフ未来の森づくり」

今年、全国植樹祭の開催を来年に控えた本県で促進会主催による植樹活動が実施されましたので紹介します。

平成二九年五月二二日（日）、南相馬市原町区雫地内全国植樹祭支援の森において、ゴルフ関係者や未来を担う子供たちと「ゴルフ未来の森づくり」植樹活動を実施し、併せて「森林（もり）とのきずなづくり植樹リレー」を実施しました。

当日は、プロゴルファーの横田真一さん、県内公募によ



代表者記念植樹・標示板の設置



プロゴルファー横田真一さんとの交流会

るゴルフアー十八名、大甕緑の少年団三七名など八二名が参加しました。午前中の植樹活動式典では、主催者である促進会の大西理事長が「緑化を通じて福島県の復興に貢献していきたい」とあいさつ、横田真一さんから大甕緑の少年団へ木製貯金箱の贈呈があり、代表記念植樹・標示版の設置を行ったのち全員で抵抗性クロマツ五〇〇本を植樹しました。参加者全員が力を合わせて、大人が穴をほり、子供たちが一本一本心を込めて、丁寧に植えていきました。午後からは、鹿島カントリー倶楽部へ移動して横田真一さんとの交流イベントが行われました。ゴルフアーには、ドライバーでボールを

打つてのワンポイントレッスンが実施され、それぞれアドバイスを受けていました。子供たちは、ゴルフ体験などの楽しい講義を受けた後、実際のグリーンでパターゴルフ大会が開催され、カップインで賞品を獲得すると歓声をあげ、日頃なじみのないゴルフを楽しんでいました。

「復興支援・さくらりの森づくり」

促進会は、平成二五年度から震災復興支援事業の一つとして被災三県（岩手県、宮城県、福島県）でさくらの公園を造る事業を展開しています。

本年度の事業として、平成二九年六月十一日（日）、第六九回全国植樹祭実行委員会が伊達市「霊山こども村」において開催した大会一年前記念イベントに併せて「復興支援・さくらの森づくり」植樹活動を実施し、併せて「森林（もり）とのきずなづくり植樹リレー」を実施しました。



夜の森さくらに寄贈



植樹活動

て、復興のシンボルとして全国各地へ贈っている「富岡町・夜の森さくらプロジェクト苗木」が促進会へ寄贈されました。また、促進会から一般社団法人りょうぜん振興公社へ「霊山こども村」で利用する木製積み木五セットの寄贈がありました。代表記念植樹では、東日本大震災の影響により活動を休止している富岡第一小学校緑の少年団を代表して原田蒼史君も参加をいただき行われました。このあと、贈られた夜ノ森さくら一〇〇本を「霊山こども村」敷地内にさくらの公園として活用できるように植樹しました。苗木は一・五メートルほど大きく、山地植栽であったため、大きな植栽穴を掘るのは大変でしたが、森林土木建設業協会東北支部の力強い協力もあり、参加者は、富岡町の夜ノ森にある桜のようにきれいに咲くことを願い丁寧に植樹しました。

富山の森づくり・人づくり・ふるさとづくり

(第四六回全国林業後継者大会・第六八回全国植樹祭の開催)

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会

○第四六回全国林業後継者大会

平成二九年五月二七日(土) 富山県黒部市宇奈月温泉において第四六回全国林業後継者大会が開催されました。「林業後継者がかがやくことで、豊かな森づくり・人づくり・ふるさとづくりを進めよう」を基本理念としています。

会場となった黒部市宇奈月国際会議館セレナでは、記念式典が行われた後、富山県内の五つの林業研究グループが「とやまの森・人・ふるさと自慢」というテーマで、それぞれの活動を発表しました。

富山のスギといえば「ボカスギ」が昔から有名ですが、長所も短所もあることから、この地域材を現在の建築材としていかに活用していくか、その取り組みが紹介されました。

また、富山県が力を入れている無花粉スギの「立山森の輝き」の苗木生産について、GPSを活用した森林の境界管理の取り組み、若い林業経営者が新たな観点に立った担い手育成への挑戦、茅葺き屋根の文化財を保護する地域の人々の活動などを、

熱い思いととも

に紹介しました。最後は、

「どうです、すごいでしょう。」

という言葉で締めくくりに、

自信と誇りが感じられるものでした。

トークセッションでも各

発表者から活動の苦労、楽しさ、魅力などが披露され、また、富山県内の森林組合で作業員として働き、コンサート活動やCDデビューもしているWCカラス氏のミニコンサートが行われ、森林作業の魅力についての紹介もありました。

閉会式典では、第四七回全国林業後継者大会福島県実行委員会の豊田会長が、来年の福島県開催に向けてのあいさつを行い、富山県に負けなような熱い思いを伝えることができました。大会にしようと決意を新たにしました。



活動発表者によるトークセッション(全国林業後継者大会)

○第六九回全国植樹祭

翌日五月二八日(日)には、富山県魚津市魚津桃山運動公園で第六八回全国植樹祭が、「かがやいて 水・空・緑のハーモニー」を大会テーマに開催されました。立山連峰から富山湾までの雄大な自然のなかで森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の実践活動を発信していくことが、基本方針の一つとして掲げられています。

天皇・皇后両陛下がご臨席なさる「お野立所」や特別招待席には、富山のスギがふんだんに使われ、富山の自然が作り出した木材を大いにアピールしていました。

式典の中心とも言える植樹行事では、天皇陛下がタテヤマスギの無花粉スギ「立山森の輝き」とコシノヒガン、ヒメコマツをお手植えなされ、皇后陛下がコシノフユザクラ、キタ

コブシ、ホオノキをお手植えなされました。続いて天皇陛下がエドヒガラとマルバマンサクのお手蒔きをなされました。

式典の最後に、長野県から始まった東日本大震災被災地へのエノキリレー(皇居内で採取した種から育てたエノキの苗)で、富山県から福島県にエノキの苗が手渡されました。苗木は、平成三〇年に福島県で開催される第六九回全国植樹祭で植樹される予定です。

いよいよ来年は、第六九回全国植樹祭が福島県で開催されます。開催に向けて県内では、「森林(もり)とのきずなづくり植樹リレー」など様々な活動が行われています。全国植樹祭の開催により、より一層緑化意識が高揚するよう気運の醸成に努めてまいります。



全国植樹祭式典会場の富山のスギ材



第68回全国植樹祭式典



お野立所と天皇・皇后両陛下のお手植え木



受賞者の方々

優良森林土木工事及び 優秀工事監督者を表彰

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会

平成二九年六月九日（金）、当協会の通常総会を開催し、席上、優良森林土木工事（沿山事業の部及び林道事業の部）及び優秀工事監督者の表彰を行いました。

この、表彰は、工事施工者の技術の向上と工事の完全施行の確保を図

ることに加え、森林土木技術者を育成するとともに、表彰を通じて、日常生活では県民の目に触れる機会が少ない山間地での工事を広く公表することで、県民への森林が有する多面的機能の認識にも繋がることから、毎年度実施しています。

本年度は、平成二八年度の施工に係る森林土木工事で、地方林業協会等から推薦があった工事を対象に、県及び当協会で構成する表彰審査会での審査を経て、受賞者を決定しました（受賞者については、当協会ホームページをご覧ください）。
各部門を代表し賞状等を授与された受賞者から、今後の抱負などを伺いました。

☆治山事業の部

赤井田造園土木(株)

代表取締役 赤井田貴之様

・受賞したお気持ち

これまでの努力を評価され、認めていただけて嬉しく思います。



赤井田造園土木(株)様への授与

・今後の抱負

これからも無事故で、質の高い工事を完成していきたいです。

☆林道事業の部

(株)新井組

代表取締役 新井博文様

・受賞したお気持ち

初めての受賞であり、大変嬉しく思っております。

・今後の抱負

引き続き良い仕事をしていきたいと思えます。

☆優秀工事監督者

(株)矢城建設 長谷川好夫様

・受賞したお気持ち

今回初めての受賞で、大変嬉しく思っております。

・今後の抱負

安全に気をつけて、工事を施工していきたいです。



長谷川好夫様への授与



(株)新井組様への授与

当協会では、県土の保全等県民の安全・安心を確保するため日々研鑽している事業者等を顕彰するとともに、多面的機能を有する森林に対し県民から深い理解が得られるよう、これからも表彰事業を続けていくこととしています。

田村市都路地区における 森林整備について

県中農林事務所

林業普及指導員 飯沼良弘

一部を除き避難指示区域に指定されていた田村市都路地区においては、原発事故による放射性物質の森林に対する影響の懸念やしいたけ原木の出荷制限から、森林整備や林業生産活動が停滞し、森林の持つ多面的機能の低下が危惧されています。

このため、急務である都路地区の森林再生、林業生産活動の再開について、「旧避難指示区域等における森林・林業再生検討会」（以下「検討会」という。）において、情報の共有、課題の整理と解決策の検討、専門的見地からの具体策の検討、事業計画・実施における連絡調整などを行いながら、森林整備に取り組んでいますので、その内容を紹介します。

検討会は、平成27年度に県中農林事務所が中心となり田村市、ふくしま中央森林組合、福島森林管理署、林業研究センターを構成員として設置し、都路地区における森林整備の進め方について4回の検討を行い、「都路地区における森林整備の進め方」と「都路地区森林・林業再生ロードマップ」（以下「ロードマップ」という。）を作成しました。

ロードマップでは、日本一のキノコ原木林の再生（広葉樹）と多様なニーズに対応した木材を供給できる森林（針葉樹）を目指し、すべての民有林（4,451ha）を対象として森林再生を概ね20年で実施することとしました。将来の目指すべき森林の姿（目標）と森林整備の基本的な施業方法が図-1、図-2のとおり示され、田村市都路地区の森林再生に向けた関係者それぞれの思いが形となりました。

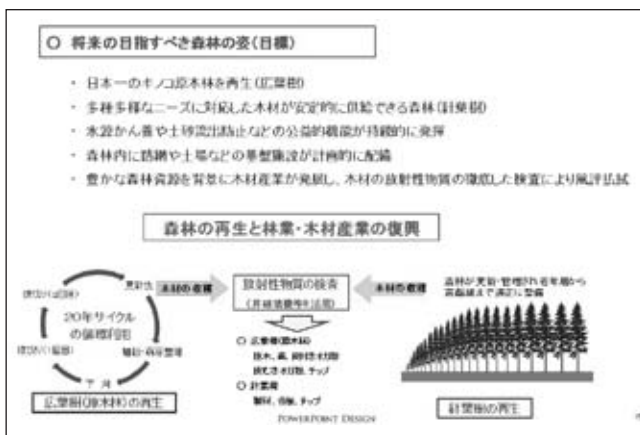


図-1

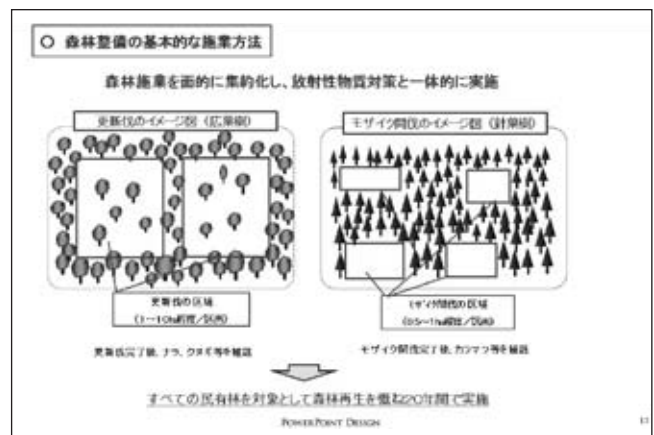


図-2

平成27年度からはロードマップに基づく取組が開始され、ふくしま森林再生事業を活用して、地区毎の年度別計画を具体的に作成するとともに、平成28年には30ha、平成29年には48haの森林整備を実施しています。

平成28年度は検討会を2回実施し、低線量地域で大面積の森林所有者から森林整備への同意取得を開始している事例や木材の運搬距離の短縮などをテーマに、森林整備の進め方や木材利用の課題を検討しました。この結果、旧避難指示地域の森林整備については、森林所有者への意向確認と意欲回復へ向けた取組が極めて重要であることが確認されました。

平成29年度においても、課題への継続的な対応を行うため引き続き検討会を開催するとともに、ふくしま森林再生事業の実施による支援を積極的に実施する計画です。また、木材の有効活用に向けた検討や新たなきのこ栽培などについても関係機関と連携を図りながら取り組むこととしています。

田村市都路地区の森林再生は、ロードマップにおける長い道のりの第一歩を踏み出したばかりですが、「日本一のキノコ原木林の再生」という地元の熱い思いを実現するため関係者一丸となって取り組んでおり、今後とも皆様のご支援とご協力をお願いします。

森連だより

第66回通常総会の開催について



本会の第六六回通常総会は、去る五月二六日、福島市杉妻会館において開催しました。

秋元公夫代表理事会長のあいさつに続いて、系統利用優良組合・永年勤続役員表彰を行い、議事では、村田久男郡山市森林組合長を議長に選出し、全十一の議案が承認決定されました。

平成二八年度は、森林組合系統運動方針「J Forest 森林・林業・山村未来創造運動」次代へ森を活かして地域を創る」の理念を念頭に、中期の新たな目標を策定し、事業量の確保拡大を図った結果、年度末決算では剰余金を計上しました。

二九年度の事業計画は、組織・経営基盤強化を図り、安定した揺るぎない体制の構築に努めること、事業運営課題は、個別事業毎に新たな視点から事

業運営の見直しを行うこととしております。

また、引き続き、ふくしま森林再生事業が柱となる森林整備関連事業の円滑な事業執行に県内森林組合とともに積極的に取り組み、本県森林・林業の再興、発展に尽力すると同時に、急務となる「ポスト森林再生事業」の開拓も系統全体として検討していくことを総括とし、部門毎に設定した基本方針が承認されました。

続いて、「役員選任において」、新たに理事として、松本秀樹氏（学識経験者）が選任され、総会後に招集された第二回理事会において、代表理事専務に就任しました。

ここで、「平成二八年度系統利用優良組合」三組合、「功労者表彰」三三名の受賞者の方々をご紹介いたします。

表彰者名簿

「平成二八年度系統利用優良組合」

販売部門 ふくしま中央森林組合

購買部門 田村森林組合

森林保険部門 東白川郡森林組合

「功労者表彰」

・永年勤続役員（勤続十二年以上）

渡辺 泰譽（田村森林組合）

小針 正廣（西白河地方森林組合）
荒海 清隆（西会津町森林組合）
松本 徳男（双葉地方森林組合）

・永年勤続職員（勤続三〇年以上）

武藤鯉矢子（福島県北森林組合）

坪井 清吾（田村森林組合）

山崎 仁（会津北部森林組合）

・永年勤続職員（勤続二〇年以上）

柳沼 正子（ふくしま中央森林組合）

・永年勤続技術職員（勤続五年以上）

加藤 宏映（福島県北森林組合）

渡邊 英夫（ふくしま中央森林組合）

圓谷 隆夫（ふくしま中央森林組合）

田代 雄一（ふくしま中央森林組合）

有松 秀吉（ふくしま中央森林組合）

三浦 大治（ふくしま中央森林組合）

渡辺 大三（ふくしま中央森林組合）

遠藤 勇次（ふくしま中央森林組合）

鎌田 信一（ふくしま中央森林組合）

佐竹 孝一（ふくしま中央森林組合）

大原 政治（ふくしま中央森林組合）

青木 一典（ふくしま中央森林組合）

村松 優子（ふくしま中央森林組合）

吉田ミイ子（ふくしま中央森林組合）

門馬 正光（ふくしま中央森林組合）

朝田 一喜（ふくしま中央森林組合）

吉田 浩忠（ふくしま中央森林組合）

渡辺 寅一（ふくしま中央森林組合）

二瓶 信秋（ふくしま中央森林組合）

小幡 実夫（ふくしま中央森林組合）
岸波 和栄（東白川郡森林組合）
松崎 文男（東白川郡森林組合）
小野 勝（東白川郡森林組合）
湯田 隼人（只見町森林組合）
近藤 重昭（いわき市森林組合）



結びに、会員組合ならびに関係機関の多大なる御支援・御協力に対し、厚く御礼申し上げます。功労者表彰受賞者の皆様におかれましては、永年のご功労に敬意を表します。

団体のページ

公社だより

第4回
定時社員総会を
開催



去る六月六日（火）福島市「福島テルサ」において、ふくしま緑の森づくり公社の第四回定時社員総会を開催しました。まず、島利行理事長より「本県の復興は着実に前進してきたが、県内の森林・林業を取り巻く環境は、原子力災害の影響や長引く木材価格の低迷などにより、依然として厳しい状況が続いている。そのため公社では『緑の森づくり新生プラン』に基づいた、より効率的な森林整備や分収割合の見直し、間伐材の販売促進など、更なる経営改善に努めながら、本県林業の復興を支え、緑豊かな森林を次世代に引き継いでいけるよう、全力で取り組んでいく。」と挨拶がありました。

次に、来賓を代表して、日本政策金融公庫仙台支店農林水産事業統轄阿部司様からご祝辞をいただき、川

俣町の佐藤金正町長を議長に選出して議事に入り、平成二八年度の事業報告及び決算の承認、平成二九年度の賦課金の徴収、役員を選任など合計四議案についての審議が行われ、原案どおり承認されました。平成二八年度の主な事業実績については、次のとおりです。

①「効率的な森林整備と森林再生への取組」については、利用間伐を中心とした施業の重点化を図り、「ふくしま森林再生事業」も活用して市町村等の支援を受けながら、周辺造林地の中核となつて効果的な森林の再生に取り組みました。②「木材生産販売対策の推進」については、路網の整備により搬出コストの低減を図るとともに、木材需要情報の把握に努めながら、計画的に木材を生産し、木材市場での委託販売や山土場



定時総会の様子

での販売などに積極的に取り組んだ結果、販売額は前年度を上回り、約五、六五〇万円となりました。③「分収造林契約変更の推進」については、「分収割合の変更」は進捗率が六六・〇％に留まったものの、「契約期間の延長」の進捗率は八六・〇％となりました。④「普及・啓発活動の展開」については、林業担い手の育成及び確保の支援を図るため、林業関係団体等との連携を図りながら、当公社の造林地を活用した現地研修会等を開催し、施業技術等

の習得や向上等に取り組まれました。平成二九年度は、保育事業では間伐を中心に七一四鈔の森林の整備や一三、〇〇〇鈔の作業路開設・補修など約三億九、五〇〇万円の事業を実施する予定です。引き続き関係団体等との連携のもと健全な森づくりに努めてまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



公社造林地の施業状況

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 28 |

如法寺のコウヤマキ

樹木医 鈴木俊行



文化財の仁王門をくぐり観音堂への参道を進むとすぐ向って左手に立っている。地形は平坦で、周辺はスギに囲まれ競い合うかのように天に向って伸びている。

コウヨウマキの生育している

「如法寺のコウヤマキ」は、耶麻郡西会津町野沢字如法寺地内の如法寺境内に生育している。生育地の如法寺へは、磐越自動車道西会津ICから国道四九号線を経由し、大久保の交差点から県道三三九号を大山祇神社方面へ向い約二・五キロメートルの場所にある。JR磐越西線野沢駅からは南へ約二・五キロメートルの場所にある。生育地は、駐車場から県指定重要

金剛山如法寺は平安時代の大同二年（八〇七）に、徳一大師が開創され、ご本尊の聖観音菩薩の胎内に「鳥追観音」を入仏秘したと伝えられる真言宗室生寺派の古刹である。また、如法寺開創以前の天平八年（七二六）に僧行基がこの地を訪れ、鳥獣害に悩む農夫に鳥追観音の尊像を授けたことにより、豊作になり幸福に暮らせたので、人々は「鳥追観音」とし

て信仰したと伝えられている。また、身代りなで仏の金剛力士像をなでて祈願すれば、ころりと大往生が叶うというので「ころり観音」と尊称される。如法寺と言うよりは「鳥追観音」「ころり観音」の名の方が馴染みが深いお寺で、会津ころり三観音の一つに数えられている。コウヤマキは徳一大師が如法寺を開創した時に、西会津町安座、堀越地区周辺にある群生地から運び植えたといえられ、樹齢は一二〇〇年と言われている。昭和三〇年（一九五五）十二月二十七日に県の天然記念物に指定された。

コウヤマキ (*Sciadopitys verticillata*)

は、コウヤマキ科コウヤマキ属の常緑針葉樹の高木である。コウヤマキは一科一属の日本固有種で、本州の福島県以南から四国、九州（宮崎県まで）の山地に自生している。前述した西会津町安座、堀越地区に群生するコウヤマキは、自生地の北限といわれ、学術的にも貴重な存在と



なっている。コウヤマキは公園や庭木として植栽されることも多く、名前は和歌山県の高野山に多いことや、高野山で

仏に供える花の代用として用いられていることに由来するといわれる。材は丈夫で朽ちにくく、水に強いなどの特性があり、古代から高級な棺や水桶、橋杭などの材料として使われている。コウヤマキは秋篠宮家の悠仁親王のお印でもある。

形状寸法は、樹高二八・〇〇メートル、幹周五・一〇メートル、根元周一二・一〇メートルでコウヤマキとしては東北最大の稀に見る巨木である。主幹は昭和三十六年の第二室戸台風で損傷し腐朽が著しいほか、雪や風等による枝折れや枝枯れが多い。枝張りは東四・〇〇メートル、西四・二〇メートル、南六・二〇メートル、北三・五〇メートルとコンパクトで、枝は頂部だけに繁茂している。

コウヤマキの巨木の姿はやや痛々しいが、一二〇〇年生きてきた歴史と力強い生命力、そして、巨木がもつパワーを全身で感じてください。きつとご利益があるはずです。





素材の価格〈工場着価格〉(4月15日現在)

(単位：m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)		9 (8~9)	0	9 (8~10)	0
		10~14		並	スギ	12 (12~12)	0	10 (10~10)	2	11 (11~12)	0	11 (10~12)	0
	中	14~22	3.00	並	スギ	12 (11~13)	0	(0~0)		10 (9~12)	△1	11 (9~13)	△1
				並	ヒノキ	18 (12~24)	3	(0~0)		15 (15~15)	0	16 (12~24)	1
		20~28	6.00	並	スギ	16 (15~17)	0	10 (10~10)	0	17 (17~17)	2	15 (10~17)	0
				並	ヒノキ	29 (24~34)	1	(0~0)		19 (15~24)	0	24 (15~34)	0
				並	スギ	11 (11~12)	△1	10 (10~10)	0	12 (12~12)	0	11 (10~12)	0
				並	スギ	11 (11~13)	△1	11 (11~11)	3	12 (12~12)	0	12 (11~13)	1
	20~28	4.00	並	アカマツ	8 (7~11)	△1	(0~0)		9 (8~10)	0	9 (7~11)	0	
			並	アカマツ	8 (5~10)	2	(0~0)		7 (6~7)	0	7 (5~10)	1	
			並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		28 (28~28)	0	28 (28~28)	0	
			並	米マツ	32 (32~32)	0	(0~0)		29 (28~29)	0	30 (28~32)	0	
外材	30以上	10.00	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		28 (27~28)	0	28 (27~28)	0	
			並	アカマツ	(0~0)		(0~0)		33 (25~40)	△1	33 (25~40)	△1	
	28以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		(0~0)		26 (25~27)	0	26 (25~27)	0	
			並	カラマツ	(0~0)		(0~0)		26 (25~27)	0	26 (25~27)	0	
パルプ用材			並	マツ	6 (6~6)	0	(0~0)		5 (5~5)	0	6 (5~6)	0	
			並	広葉樹	9 (9~9)	0	(0~0)		6 (6~6)	0	8 (6~9)	0	

三月の原木市場への入荷状況は、前月比六三立方メートル増（前年比一一割増）の三一、七三一立方メートルとなつてゐる。販売量は、前月比三割減（前年比六割増）の三〇、七九立方メートルとなつてゐる。四月の価格は弱気配となつてゐる。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		7 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)		8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)		10 (9~11)	0

- 1. 前月差の△印は値下りを示す。
- 2. () 内は各地域の価格幅、() 外は各地域の平均価格を示す。
- 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
- 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。



「あいつら 東西南北」

会津の山の恵み

会津農林事務所 高畑 純

会津地方には東北地方最高峰の燧ヶ岳をはじめ、磐梯山、会津駒ヶ岳など、日本百名山七座があり、各地で開催される山開きは人気のイベントです。会津の山開きのお楽しみポイントは何と言っても「残雪」。五月の黒森山(喜多方市)は、標高九一七メートルと初心者向きでありながら、ブナの芽吹きを見ながら雪を踏みしめる登山はとても気持ちが良いものです。

残雪と言えば「飯豊山」。万年雪の頂は懐が深く、私もこの十年間余、何度も登頂断念したのですが、昨年、山仲間と連れられ、山頂にたどり着くことができました。そして、幸運にも「ブロッケン現象」を見ることができました(写真)。

ブロッケン現象ってご存知ですか(詳細はwebで)。大気光学現象の一つなのですが、眼下には雲海が棚引く頂で、目の前の自分の影の周りには七色の光輪が鮮やかに見えました。山好きの方は是非とも挑戦してみてください。山頂からの景色だけでなく、満天の星空を肴に飲むお酒も最高ですよ。

酒と言えば、全国新酒品評会金賞

銘柄数日本一となった福島県ですが、二銘柄の内十三銘柄が会津地方。十年連続受賞の南会津の「國権」をはじめ、地元会津美里町の「萬代芳」など、大好きな銘柄ばかり。ますます、お酒が進みます。

酒の材料と言えば米、そして「水」。会津盆地西部には扇状地があり、扇端では湧水も見られます。私の実家(会津美里町)の敷地にも半世紀前には湧水があり、「紙漉き」が集落の産業として町史に記載されています。そして、酒と言えば酒の肴。「鱧の山椒漬」「ボウタラ煮」など独特の料理がありますので、会津に来て日本一のお酒とともに召し上がってください。

山好き、酒好きの聖地ともいえる会津。骨の髄まで山の恵みに浸ってみてください。会津の山があなただの人生観を変える…かもしれません。





日本庭園が財となる

平成二四年七月、英国に「福島庭園」が開園した。これは、東日本大震災での英国民への感謝を伝えたいと、ホーランドパークに開園した日本庭園である。この「福島庭園」入口は、地面から生まれ出てきたとする三つのソウルストーンで守られており、これは「決して諦めない」という象徴。歩道（露地）は石で、河原を歩いている感覚を。山道には、福島の白いシヤクナゲ、春には桜も見られるという。そして歩道の頂上には「東日本大震災の時に、英国の人々が時をおかず示された対応に、深く感動いたしました。」という天皇陛下下の石碑。その他にも枯滝、築山で構成されている。作庭したのは、北山安夫氏（京都・北山造園代表）。氏は、東北の方々と悲しみや痛みを共有していかねばという思いを、室町時代に一例だけある渦巻石組で表現した。この石組の特徴は、三六〇度正面であること。中心に据えている景石三石は中心が釈迦如来、左右が文殊菩薩、普賢菩薩の三尊石組である。福島県民の思いがいつまでもこの庭園に生き続けることを願っていると云う。

日本庭園は、緑層の変化を「色」とし、石をもって流れとする。その簡素美をもつ日本庭園と向き合っていると自然に心が整っていく。更に、今年十月本宮市には「英国庭園」が開園する。市は、七月二〇日に「福島庭園」と姉妹協定を締結する運び。どちらの庭園にも実に多くの人々が心と伝統的な技を寄せ合っている。

そして、この「福島庭園」開園に力を尽くしたバリー・マクローリンさん（元ホーランドパーク園長）は講演会の最後にこう結んだ。「決してあきらめない福島のすべての勇敢な人々に敬意を表します。」いよいよ福島県人の心の復興が音をたててきたようだ。

表紙の写真



「星空の下に咲く」

第31回ふくしま緑の写真コンクール特選
受賞者 田中瞭好さん（郡山市）
撮影場所：本宮市

編集

発行人

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）
発行人 水戸印刷株式会社
（定価 一〇八円）

お知らせコーナー

第14回ふくしま森林・林業写真コンクール 作品募集

～特別賞に高校生以下の部を設けました～

森林の大切さとそれを支える林業の重要性について広く認識していただくため、森林・木材との関わりや森林整備作業などをテーマにした作品を募集しています。

1. テーマ

下刈・間伐等の森林整備作業、木材の利用、特用林産物（炭焼き、きのこ栽培、漆等）、里山風景、森林レクリエーションなど福島県内の森林・林業に関するもの

2. 応募資格

アマチュアで、作品は福島県内で撮影した自作品の未発表の作品

3. 作品

カラープリント、四ツ切・ワイド四ツ切(デジタル可)

4. 応募締切

平成29年9月15日(金) (当日消印有効)

5. お問い合わせ先

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
(TEL 024-521-3245)

2017一語一絵 みどりの文 作品募集

～庭にはひとつの物語といちまいの絵があります～

「美しい緑と安らぎの空間づくり」を目指している(一社)福島県造園建設業協会では、世代を越えて共有できる庭と緑への想いをテーマとした作品を募集しています。

1. 部門

(1) 手紙・エッセイ部門

600字以内(句読点を含む)、様式は自由(原稿用紙・便箋等)

(2) 絵手紙部門

私製はがき(107mm×154mm以内。通常はがきサイズ)、官製はがきでご応募ください。

(3) フォト部門

写真(6ツ切りサイズ)、写メール(データをメールで送信)

2. 応募締切

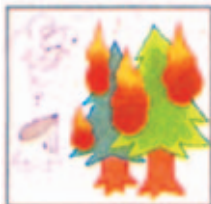
平成29年8月28日(月) (当日消印有効)

3. お問い合わせ先

一般社団法人福島県造園建設業協会
(TEL 024-593-0039)

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



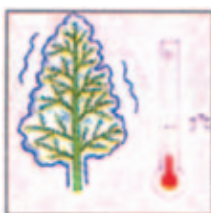
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのタワーヤーダ
TY-U5C タワーヤーダ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

橋梁型エンドレスタイラー方式に対応した
5脚式タワーヤーダ
上行荷・下行荷ともに橋梁型集材が可能



For the future with forest

イワフジ工業株式会社 北関東支店

www.iwafuji.co.jp

(北関東支店) 福島県郡山市八山田5-314
TEL 024-973-5168 FAX 024-973-5168

(本社・工場) 岩手県奥州市水沢区桜屋敷西5-1
TEL 0197-23-3111 FAX 0197-25-3177

(支店) 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

<p>野生獣類から大切な植栽木を守る</p> <p>ヤシマレント</p> <hr/> <p>ヤマビル対策に</p> <p>マリックスター(駆除剤)</p>	<p>蜂さされ防止</p> <p>ハチノックL(巣退治) ハチノックS(携帯用)</p> <hr/> <p>タケを駆除する</p> <p>クロレートS</p>	<p>大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤</p> <p>ヤシマスミバイン乳剤 ヤシマスミバインMC グリーンガードNEO パークサイドF ヤシマNCS モリエートマイクロカプセル マツグリーン液剤2 マッケンジー</p>	<p>くん蒸用生分解性シート</p> <p>与作シート(茶・白) (折りたたみ式 専用キャリーバック使用)</p> <hr/> <p>竹・ササの防除に</p> <p>クロレートS粒剤</p> <hr/> <p>アメシロなどの害虫防除殺虫剤</p> <p>打ち込み上手</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

<p>チッパシュレッダ</p>  <p>竹もOK! SR3100 出力 18.4kW (質量1,330kg) 水冷ディーゼル 967634301 ¥3,580,000(税抜)</p>	<p>ハンマナイフモア</p>  <p>ZHM1550 出力 27.5kW (質量1600kg) 967081901 ¥5,860,000(税抜)</p>	 <p>ZHM800 出力 7.4kW (質量230kg) 967088901 ¥748,000(税抜)</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1